



石川県共同募金会からのお知らせ

平成30年度共同募金運動の結果 温かいご支援・ご協力ありがとうございました。

共同募金運動の推進につきましては、皆様より温かいご支援とご協力をいただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきました寄付金は、石川県内において福祉団体、施設や社会福祉協議会等が取り組む、誰もが安心して住める地域づくりの支援や、大規模災害に備えた積立金として、役立ててまいります。ありがとうございました。

募金総額	206,938,628 円
○赤い羽根募金	108,074,037 円
○歳末たすけあい募金	
地域歳末	91,614,744 円
NHK 歳末	7,249,847 円

募金の使い途

- 市町で活動する福祉団体や社会福祉協議会等が実施する地域福祉事業に …………… 90,768,858 円
- 県域で活動する福祉団体の事業に …… 2,799,000 円
- 歳末たすけあいの事業に …………… 77,638,380 円
- 災害等準備金の積立てに …………… 6,417,000 円
- 赤い羽根や募金箱などの資材費や運動推進費等に …………… 29,315,390 円

「石川県共同募金会運動推進計画」について

石川県共同募金会は、このたび、平成31年度（令和元年度）から3か年の本県における共同募金運動の方向性と具体的目標を定めた「石川県共同募金会運動推進計画」（以下「運動推進計画」とする）を策定しました。

共同募金運動が創設され70年を経過したことを契機に、中央共同募金会では、今後10年の運動方針を示した「70年答申に基づく推進方策」を策定しました。そこでは、共同募金は地域住民や関係機関との協働によって地域課題や社会課題を解決するために、募金活動に参加したり、寄付をすることで福祉活動を支えるという「運動性」を持っていましたが、社会に「赤い羽根募金」として定着する一方で、寄付を集めることに重きがおかれてしまい、共同募金から「運動性」が失われてきたと指摘しています。この運動性の再生が目標として定められています。

本県でも、募金の使途が見えにくい、助成先が固定化しているといった課題に対応するため、市町共同募金委員会とともに検討会を設け、現状の分析や課題の抽出、解決するための工夫を議論してきました。

このたびの運動推進計画では、県域におけるニーズをキャッチする機能の強化や募金方法等の見直し、助成先の見直しなどの項目に対して、年ごとの取り組みも含めて具体的に明記しました。今後は、各市町共同募金委員会と協力して、それぞれの地域事情を考慮しながら、計画の着実な実行に努め、民間福祉財源としての共同募金の役割を一層果たしていけるよう運動を推進してまいります。

角中選手 安打1本につき1万円を石川県共同募金会へ寄付

本県七尾市出身の千葉ロッテマリーンズ、角中勝也選手から2019年シーズンの成績に応じて石川県共同募金会へ寄付をいただけることになりました。

今シーズンの安打1本につき金1万円をご寄付くださいます。なお、寄付金につきましては、角中選手の希望により、県内の障がい児・者支援に役立てていく予定としております。

角中選手の活躍からますます目を離すことができません。みんなで応援しましょう。